

研究課題番号	2-1707
研究課題名	カーボンプライシングの事後評価と長期的目標実現のための制度オプションの検討
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	128,998 千円
研究機関名	早稲田大学
研究代表者名	有村 俊秀

1. 評価者の指摘及び提言概要

それぞれのサブテーマに関する研究内容は当初計画に照らして概ね問題のない成果を上げていると判断される。カーボンプライシングの事後評価を多面的な角度から定量的に分析し、学術面および政策貢献面でも成果をあげていると評価できる。とりわけ産業毎の影響や負担軽減策、税収利用オプションなど、本格的カーボンプライシング導入の際の論点となる事項につき、具体的な知見を得ることができている。環境税改革の経済要素を明らかにするための分析は当を得ており、その分析結果は傾聴に値するものとなっているように思われる。カーボンプライシングの家計調査については、エアコン、自動車などのトップランナー方式によるエネルギー利用の効率化（技術的改善）より、家族構成の変化などが地域全体のエネルギー消費により大きく影響しているとの指摘は重要である。

2. 評点

総合評点：A